

2009年5月27日

各 位

大京グループ
株式会社大京
グループ広報部長 奥山 慎哉

立体駐車装置事業およびプラント設備事業等の新会社

「扶桑エンジニアリング」が6月1日(月)より営業開始

大京グループにおいて、おもに立体駐車装置事業およびプラント設備事業等を手掛ける新会社「株式会社扶桑エンジニアリング」(本社：東京都江東区、社長：土田 穰一郎、設立：2009年1月)が、6月1日より業務を開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 趣旨

当社(株式会社大京)は、2009年3月1日付にて扶桑レクセル株式会社を吸収合併し、同社の住宅事業、エンジニアリング事業を承継しております。

このうちエンジニアリング事業につきましては、立体駐車装置事業およびプラント設備事業がその中心ですが、とくに立体駐車装置事業に関しては、その性能・品質が評価され、「扶桑の立体駐車装置」というブランドを確立し、当社グループ外からの受注も順調に増加するなど、業界大手の一角に位置する規模へ拡大してまいりました。

同事業におけるこれまでの成長の過程を踏まえ、独立した事業展開によって、「扶桑」ブランドによる事業推進体制を構築することが、より一層の競争力強化の観点から望ましいと判断し、当社の100%子会社である株式会社扶桑エンジニアリングとして業務を開始するものです。

2. 会社概要

(1) 会社名	株式会社扶桑エンジニアリング
(2) 本社所在地	東京都江東区大島七丁目22番18号
(3) 営業所	名古屋営業所 (愛知県名古屋市中区栄二丁目6番1号) 大阪営業所 (大阪府大阪市淀川区西中島二丁目14番6号)
(4) 資本金	20百万円
(5) 出資者	株式会社大京(出資比率100%)
(6) 代表者	土田 穰一郎 土田 穰一郎は、株式会社大京の常務執行役を兼任
(7) 設立日	平成21年1月30日
(8) 営業開始日	平成21年6月1日

3. 事業内容

(1) 立体駐車装置事業

都市圏の駐車スペース不足の解決策として、車の収容力をより高める立体駐車装置の開発を進めてまいりました。

高収容・低コストはもちろん、安全性、簡便な操作性、スムーズな出入庫など、合理的で効率の良いシステムを実現。敷地形状や様々な車種に対応する24タイプの立体駐車装置で、マンションをはじめとする各種駐車場など幅広いニーズにお応えしており、2008年度は約9,800パレットを納入、業界大手の一角に成長しています。



(2) プラント設備事業

各種企業のプラント設備における配管・機器据付、燃料タンクの製作・据付をはじめ、都市ガス配管工事、環境関連のゴミ焼却設備および地域冷暖房プラント配管工事など、快適な環境づくりにも寄与しています。

4. 新社名ロゴ



扶桑とは、古代、中国において日の出る東海のなかにあるとされた神木を表し、またその神木がある土地をも表し、転じて日本の異称となっている。

扶桑エンジニアリングは、戦後の復興期に創業した時の志、即ち、これからの日本をどう復興させ繁栄させていくか、全社員一丸となって創業した志を忘れぬために、創業時（扶桑興業株式会社）の扶桑を冠した会社名としている。

新設のロゴマークは、FUSO（扶桑）のFと日本（扶桑）の象徴である富士山のFを兼ねて、シンボリックにしたもので、そのシンボルカラーは、紺碧の青空の中、これから正に東の海から昇り始める太陽の陽を浴びて朝焼けのオレンジ色に染まった姿を表している。

以 上

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 グループ広報部（奥山・丸山） : 03-3475-3802